

かわさきの新たなランドマーク

川崎市内を一望できる展望ロビー・スカイデッキを公開



新庁舎は、震災対応にも優れ、大規模災害時にも市民への情報発信、生活再建・復興の中核拠点として役割を担います。



北東方面には、六郷河川敷や新宿に東京都庁、羽田空港の航空機離発着、東京タワーやスカイツリーなどが一望できます。



南東方向には、横浜ランドマークタワーやベイブリッジ、つばさ橋、また天気の良い日には富士山を一望することができます。

1938年に竣工した川崎市庁舎は、75年の歴史に幕を閉じ、新たに地上25階、地下2階、高さ約117mの新庁舎が誕生。

新庁舎25階には、地上110mの高さから市内を一望できる『展望ロビー・スカイデッキ』が設置され、市内は勿論、東京都内、羽田空港やスカイツリー、横浜ベイブリッジから富士山に至るまで眺望が楽しめます。どなたでも利用でき、入場無料。

【展望ロビー公開時間】

午前9時～午後9時まで
(土日祝日含む)

※設備点検や悪天候時には展望フロアを閉鎖することがあります。

市民代表の議員が熱い議論を展開する議場



議員席後方の傍聴席は、100名が議会の進行を見ることができます。また、親子席が設けられ、小さいお子さんと一緒に安心して議会をご覧いただけます。



議場内「演壇」からの風景。代表質問や討論などおこなう時に使用されます。議場や委員会室では、市民生活に直結する様々な課題を活発に議論されています。

新庁舎23階・24階部分にある市議会議場は、各区選出の議員60人が市民の代表として、活発に論戦が繰り広げられています。

新議場では、新たに採決における押しボタン方式を採用し、大型スクリーンに各議員の賛否が色分けして表示されるなど、採決態度が鮮明になりました。

傍聴の流れ【動画】



「議会議場」広報キャラクターのおよぶが川崎市議会の傍聴の流れをご紹介します。

議会中継



開催中の会議および過去の会議をご覧になれます。

会議録検索システム



川崎市議会の本会議・委員会等の全発言を対象に言葉で検索できます。



せいじのみかた

2026年 vol.3



特集

PCB廃棄物適正処理問題は
市環境審議会でも議論された実績が無い!?
行政内のPCB廃棄物の処分費は市民の血税!
意識が重要だ!

川崎市議会議員
環境委員会 委員

みつる
飯田 満



Profile

PCB廃棄物適正処理問題は 環境審議会で1度も議論された実績が無い! ～環境審議会委員にPCBの専門知識を持つメンバーがいない～

川崎市議会、令和8年「第1回定例会」が2月12日から3月18日までの35日間の日程で開催され、令和8年度予算案や令和7年度補正予算案等が審議された。3月5日の予算審査特別委員会では、飯田満委員がPCB廃棄物適正処理問題について行政の取り組みや来年度予算案の内容について質した。

飯田：今月末をもって、国内で唯一、高濃度PCB(安定器)を処理している北海道室蘭市のJESCO北海道処理事業所の稼働が停止となる。昨年10月15日でJESCOとの契約が終了していることから、それ以降に高濃度PCBが発見された場合は、事業者が根拠法令に基づいて適正管理に務めなければならない。

そんな中、JESCO事業の終了以降、新たに発見される高濃度PCBが長期的に保管されることがないよう、国も広域処理施設の整備に向けて実証試験をおこなうなど、高濃度PCBの処理施設整備に尽力し、自治体の負担軽減策やPCB特措法の見直しで、新たな発見から一定期間で処理することを定めるなど、特措法改正の動きが出てきている。

質問の本筋に入る前に確認したい。行政施設から最後に高濃度PCBが発見されたのが、令和7年9月。それ以降、この予算審査特別委員会の初日を迎えた今日までに、行政施設内から高濃度PCBの新たな発見について聞く。

環境局長：庁内における高濃度PCB廃棄物につきましては、中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)への登録申込が終了した昨年10月15日以降、新たに発見されておりません。

飯田：令和8年度は本市総合計画の基本構想、基本計画の改定時期でもある。国の「PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」における「PCB廃棄物基本計画」、地方自治体の責務が明確になっているが、本市総合計画との整合性について伺う。

環境局長：国のPCB廃棄物処理基本計画は、確実かつ適正な処理を総合的かつ計画的に推進するため、必要な事項を定め、その中で地方公共団体の役割が示されている。

次期総合計画は、第4期実施計画における事務事業



として「産業廃棄物指導・許可事業」を位置づけ、PCB廃棄物を含む産業廃棄物全体の適正処理を推進して行くとしており、整合は図られていると考えております。

飯田：本市の環境審議会、平成16年に環境保全審議会と環境政策審議会が一緒になって、今の環境審議会になっている。以降20年余、PCB廃棄物の処理に関する審議がおこなわれた実績はあるのか。

環境局長：審議会では、本市の廃棄物処理計画の策定にあたり、PCB廃棄物を含む産業廃棄物施策について審議いただいておりますが、平成20年以降、PCB廃棄物を個別に審議いただいた実績はございません。

飯田：PCB特措法で地方自治体の責務が明確になっている、地方自治体の取り組みが重要になっているにも関わらず、本市の「PCB廃棄物の適正処理」に関する議題が1度も審議されていないというのは、どういうことなのか。

環境局長：国が専門家の意見をもとに計画を策定し、基本的な方針を定め、各自自治体はその方針に基づき取り組みを進めておりますので、審議会において、これまで本市独自の施策としてPCB廃棄物に関する審議は行われなかったものと考えております。

飯田：市民の生命財産に関わるPCB廃棄物の適正処理、保管、使用している民間事業者や行政施設からも今後、新たに発見される可能性がある高濃度PCB、低濃度を含めて、「PCB廃棄物の適正処理」について、環境審議会でも議題として、審議するべきではないか。

環境局長：現時点で、審議会において審議していただく予定はございませんが、今後、必要が生じた場合には、審議会のご意見を伺ってまいりたいと存じます。

行政内のPCB廃棄物の処分費は市民の血税! 意識が重要だ! ～財政局長「市民の皆様のご負担により対応している」～

飯田：来年度予算(案)の内容について議論したい。令和8年度のPCB廃棄物処理推進費として、8,347万2,000円が計上されているが内容は。

環境局長：内容等につきましては、市長事務局における低濃度PCB使用製品の更新にかかる費用として7,390万2,000円、低濃度PCB廃棄物等保管状況調査業務の費用として957万円でございます。

飯田：この8,347万円余の予算案の内訳、その殆どを行政施設で使用されてきた「低濃度PCBの処分費」であるということ。過去に、行政施設内の高濃度PCBの処分費について、民間事業者は頑張って働いた売上、利益の中から処分費を支出している。一方、行政は市民の血税を使って処理をする。この大きな差をしっかりと認識してもらわないといけない。予算案を取りまとめた所管の財政局長から、税を執行する立場を代表して所見を聞きたい。

財政局長：PCBの確実な処理につきましては、排出事業者の責務として、必要なことと考えております。その処分費用は、市民の皆様のご負担により対応していることや、厳しい財政環境の中、負担が大きいものであることをしっかりと認識し、適切かつ効率的な予算執行が必要と考えております。

飯田：前回議会では、時間の関係で議論の深堀ができなかったのですが、予算上の観点から何点か質問をしたい。

既に、過去の掘起し調査の精査作業が実施されていると報告があった。その結果、高濃度PCBの使用及び保有の疑いがある民間事業者に対し、本市からどのようなアクションを起こしているのか。

環境局長：過去の掘起し調査において、濃度不明などと回答した約400の事業者にアンケートを送付し、3月末を期限として現在の状況を改めて確認しているところでございます。

飯田：過去に、PCB特措法第25条1項に基づき、立入検査した事例があると前回議会で環境局長の答弁があった。立入検査に至った理由とその立入検査の結果、どのような指導、監督をおこなったのか。

環境局長：令和7年10月15日のJESCOへの登録申請終了前の立入検査では、高濃度PCB廃棄物やその疑いがあるものが存在すると連絡を受けた事業所に立ち入りを行っており、現地で高濃度PCB廃棄物であることが確認されたものに関しては、処分期限内に処分するとともに、処分までの間は事業所内で適正に保管するよう指導した。

立入検査で発見されたものにつきましては、すべてJESCOへの搬入が完了しており、適切に処分されたことを確認しております。



照明器具に設置されていた高濃度安定器



4月から計画実施される「循環型社会形成推進計画」



環境審議会は、社会問題化してきたPCBについて議論されめま